

## 相双地方「元気が出る園芸推進セミナー」を開催しました



野中昌法教授による講演 本セミナーは、生産者の皆さまに安心して営農再開や規模拡大に取り組んでいただくため、放射性物質に関する知識を深め、次年度の園芸作物栽培に向けた技術対策を進めることをねらいにしたものです。

まず、新潟大学農学部土壌学研究室の野中昌法教授から、「相双地方の農業復興と発展を目指して」と題して、放射性物質が農作物に与える影響を踏まえた相双地方の農業復興について御講演をいただきました。

青果物流通の立場からは、東京新宿ベジフル株式会社営業本部の斉藤祐一執行役員より「本県産青果物の販売について」と題して、本県産青果物の販売状況等について、風評被害の実態を含めてお話いただきました。

最後に県農林水産部農業振興課の木村昭則主任主査より、新たに得られた放射性物質に対する知見や農業総合センター等での試験成果について情報の提供がありました。

当日は、各講演者に対して参加者から多数の質問が出されるなど、安心して営農再開しようとする農業者の熱い気持ちが現れた一日となりました。(農業振興普及部)

## そうそう・6次化ネットワーク 交流会を開催しました

平成23年11月30日、「そうそう・6次化ネットワーク交流会『地域産業6次化』&『放射性物質と農林水産物』に関する講演会」を、相馬市総合福祉センター(はまなす館)で開催しました。

この交流会は、専門家より6次化商品の成功事例を紹介するとともに、放射能について理解を深めるための取組みとして開催したもので、74名の方々が参加しました。

「地域産業6次化」に関する講演では、株式会社パイロットフィッシュ代表の五日市知香先生から、「小さな力の商品開発」と題し、紹介いただきながら、震災後でも「売れる」商品となるための着眼点などについて、分かりやすく講演いただきました。

「放射性物質と農林水産物」に関する講演では、福島大学特任教授の河津賢澄先生から、放射能の基礎知識や農林水産物、食品への影響などについて講演いただきました。両講演とも、参加者の関心が高く、有意義な交流会となりました。(企画部)



6次化の事例を紹介する  
五日市先生

## ～営農再開に向けた 広野町の取り組みについて～



ベラー

東日本大震災により緊急時避難準備区域となった広野町では、本年度水稲の作付制限がなされたため、農家も水田を中心とした農地の管理がほとんどできず、アワダチソウやアカザなどの雑草が2m近くまで伸びた状態となりました。

伸び放題となった雑草の茎は堅く、農家個人ではどうしてもできない状態であったため、広野町では次年度の水稲作付け

再開に向け、草刈り機2台やベラー1台等を町単独事業で導入して、農地の除草を10月下旬から行っています。

刈った雑草については、そのまま農地に鋤込むのではなく、少しでも放射性物質の除染になるように、現在、町指定の仮置き場に保管しています。

未だ、農林水産省より水稲の作付制限の解除はされていませんが、緊急時避難準備区域の指定が外れた町村のさらなる取り組みに期待したいと思います。

(双葉農業指導所)



草刈り機

## 大震災に係る 農地・農業用施設等の復旧状況について

農村整備部所管の農地等災害査定においては、これまで進めてきた南相馬市、相馬市及び新地町のほか、広野町並びに川内村においても実施されており、475地区で約451億円が採択されました。

引き続き、津波被害農地エリアの災害査定を進めるとともに、農地や農業水利施設及び海岸保全施設、排水機場並びに農業集落排水施設等の速やかな復旧工事に取り組んでまいります。



海岸保全施設「北海老地区」  
(南相馬市)の査定状況

(農地関係の災害査定結果 12月28日現在)

区 分		箇 所 数	査定決定額(千円)
団 体 営	農 地	153	22,260,155
	除 塩	4	29,879
	農 業 用 施 設	268	3,950,489
	農業集落排水施設	10	1,119,443
県 営	排 水 機 場	18	9,065,326
	ダ ム ・ た め 池	5	149,576
	海 岸 保 全 施 設	13	6,821,098
	湖 岸 堤 防	4	1,730,827
合 計		475	45,126,793

※査定結果・状況は相双農林事務所農村整備部のHPに順次掲載されておりますので、そちらもご覧ください。

## 東日本大震災に伴う治山・林道施設の 復旧状況について

3月11日に発生した東日本大震災及び津波による治山・林道施設の災害査定は、7月下旬から相馬市、新地町、南相馬市及び川内村において実施され、7地区で39億7千万円が採択されました。

今後は計画的避難区域や警戒区域の制限の動静を見ながら、災害査定を受検準備を進め、速やかな復旧工事に取り組んでまいります。

(森林林業部)  
H23.12.21現在

区分	種別	被災箇所数等		対象市町村
		査定額(千円)		
治山	護岸工	3地区	5,109,8m	相馬市
			3,939,553	
林道	舗装、法面	4地区	649,0m	新地町、南相馬市、川内村
			32,378	
計		7地区	5,758,8m	4市町村
			3,971,931	



災害査定の様子

地元の旬の野菜を食べて、冬も元気に過ごしましょう！！  
「そうそう・旬の味を楽しもう！」キャンペーンを実施しました

平成23年11月18日から12月9日までの毎週金曜日(計4日間)に、福島県相双農林事務所の主催による「そうそう・旬の味を楽しもう！」キャンペーンを4店舗で開催しました。

このキャンペーンは、東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う、相双地方産の農林水産物の風評被害を払拭し、安全性が確認された県産農林水産物の情報発信を行うことを目的として実施しました。

県産農林水産物のモニタリングの検査状況や、放射性物質に関する県産農林水産物の安全性、相双地方で頑張っている事業者の紹介などのチラシと相馬地方産の農産物を買って物客らに配布しました。

県で行っているモニタリング検査の状況や、配布品の産地について尋ねる方もいましたが、ほとんどの方々は、旬の農産物を嬉しそうに受け取っていました。また、「頑張って」「いつも食べているよ」等の激励の声をいただくこともありました。

このキャンペーンは1月から2月にかけて、相双管内の「がんばろう ふくしま！ 応援店」にて、今後随時開催する予定となっています。

(企画部)



野菜を受取る買い物客

## 「地域の人たちを食と料理でつなげよう事業」料理教室が開催されました。

平成23年11月15日から12月1日にかけて、相馬地方調理師会・農林事務所共催で「地域の人たちを食と料理でつなげよう事業」料理教室を開催しました。

この事業は、地域住民に地域農林水産物の安全性などの正しい情報を提供するとともに、地域の食材を活用した料理の調理法や技術の取得を図り、地域でがんばっている調理関連業者との絆を深め、地域の農林水産物の活用と地域の活性化を図ることを目的に開催したものです。

料理教室は、そば教室を2回、和菓子教室を2回の計4回開催し、農林水産物の安全に関する県の取り組みを紹介の後に調理体験を行いました。初めて参加する人も、プロの講師やアシスタントの丁寧な指導によって、満足がいくできばえに仕上がりました。

今回のような催し物を通じ、地元での県産物の利用推進や、震災・原発事故で大きく揺らいだ地域の絆の再生に向けた取り組みが進むことを期待しています。(企画部)



講師の説明に熱心に見入る参加者

## コラム:「農地等の災害復旧にむけて」～農村整備部長:柳田敏雄～

東日本大震災にあわれた方々に対し衷心よりお見舞い申し上げます。

今回の大震災では津波により排水機場、海岸堤防、農地等に甚大な被害が発生しました。

農村整備部では震災発生直後、二次災害を防止するため、ため池の被災調査を行うとともに、堤防や排水機場が破損したために海水が浸水した地域において排水作業に着手しました。

この排水作業は警察や自衛隊の行方不明者の捜索に重要な役割を果たしました。

現在は警戒区域等を除いた地域において災害復旧に全力を挙げております。海水が浸水した地域の排水を重点事業として位置づけ排水機場の応急仮工事を5月から発注し、現在はほぼ完了し稼働することができました。また、海岸堤防等も応急工事により海水の浸水が防げるようになりました。

津波被害を受けた農地の復旧は膨大な面積になり困難を極めておりますが、早急な査定終了に向けて他県からの応援を受けながら進めております。今後とも部一丸となって相双地方の復旧復興にむけて日夜取り組んでまいります。



### 福島県相双農林事務所 企画部

〒975-0031 福島県南相馬市原町区錦町一丁目30番地  
TEL:0244-26-1153 FAX:0244-26-1181  
HPアドレス <http://www.pref.fukushima.jp/norin-sousou/>

